

平成20年度石油ガス配送合理化推進事業

申請者	高知エネルギー株式会社 高知エネルギー株式会社 高知工場	共同申請者	(株)アストモスガスセンター四国 (株)アストモスガスセンター四国 高知営業所		
事業の名称	推進体制				
高知地区LPガス共同充てん事業	高知エネルギー株式会社高知工場において、合理化・効率化のため充てん量に見合うプラットフォームの面積を拡張する(既存面積741m ² ・新設面積271m ²)ことで、充てん前の容器・充てん後の容器置き場を確保し、合理化・効率化を図る。				
背景及び事業内容					
<p>背景 高知地区は、日商、伊丹産業、四国ガス燃料、土佐ガス、高知液化ガス、イワタニ産業など有力卸売事業者が多数あるが、高知エネルギーは、内航船が受け入れ出来る海上受入基地(680ト)及び4充てん所を所有し、高知県全域に販売している。</p> <p>経過 19年4月頃、アストモスの基地が老朽化してきたため、LPガス原料を供給する上で有利な海上基地を所有する高知エネルギーに申し入れがあった。その後相互で計画を具体化し、共同充てんを実施することになった。将来は他社も誘って1.5万件規模の共同配送にする計画がまとまった。</p> <p>事業内容 合理化と効率化目的達成のために、当該地区においてアストモスガスセンター四国高知営業を廃止し、高知エネルギー高知工場に移行、統合して共同充てんを実施する。統合する高知エネルギー高知工場において充てん設備増強工事を行い、容器データを統合する。なお充てん業務については高知エネルギー株式会社が運営する。配送業務についてもH21年度から共同化を推進する。</p>					
主要設備の改造・増強内容		実施計画			
<p>< 充てん所の新設・増強要件 > 新設 増強等</p> <p>< 合理化手段 > 共同充てん設備 共同充てんかつ共同配送設備 LPガス容器管理システム統合等 共同充てんかつ共同配送設備及びLPガス容器管理システム統合等</p> <p>< 主要設備名 > ・プラットフォーム拡張 ・充填設備拡張(搬入コンベア×1、フリーローラー×1) ・防消火設備(散水設備)</p>		<p>H20年4月 共同充てん合意 H20年6月20日 補助金申請 H20年7月28日 補助金交付決定 H20年7月 充てん設備工事開始 H20年11月7日 完成検査実施 H20年11月12日 共同充てん開始 H20年11月20日 廃止届受理 H20年12月 補助金請求・振込 H21年4月 共同配送一部開始</p>			
資金調達計画	合理化効果				
補助金 17,427,242円 自己資金 0円 借入金 20,553,883円 合計 37,981,125円 (補助事業に要する経費)	事業完了時	合理化効果率	合理化効果額	費用対効果	共同配送を含む 効果率
	現在	34.4%	13,591千円	35.8%	(現状での合理化効果は把握できない)
		31.7%	12,533千円	33.0%	
* 差異に対するコメント { 固定費(20年度の実績)が若干増加したため。 }					
* 波及性などの定性的効果の内容及び効果率 { H21年度より、配送の合理化を推進しており、8名の配送員が、7名で済むようになった。(まだ1部の配送) 現在残りの配送の一元化を打ち合わせ中です。 充てん量も、20年度の途中からの移行であり21年度は全量となり、自然減を除けば予定通りです。 }					